

行動圏

基本的になわばりはなく、その季節季節の餌のあるところに移動、集中します。一定の地域を季節を通じて回遊しています。

行動範囲は、オスで 30~70 km²、メスで 20~60 km²といわれています。

しかし、クルミ、クリ、ドングリ類などが不作の年は行動範囲が通常年より2倍以上に広がり、人間との接触が増えることがあります。

冬眠

クマの冬眠（冬ごもり）期間は、初雪が降る頃（福井県では12月頃）から4月上旬頃までといわれています。

しかし、その年の気象状況や冬眠場所（奥山か里山か）、クマの栄養状態（秋に餌を十分食べられたかどうか）などにより、さまざまなケースが見られます。

出産

クマは冬眠の間に1~2頭程度出産します。

しかし、繁殖力はとても低く、秋に餌が十分食べられるかどうかで妊娠できるかどうかが決まります。



ツキノワグマの糞

食べ物によって、また体調によって形や色が変わります。

秋は直径4cm、長さ15cmぐらいになり、人間のものとよく似ています。